

第2期和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見一覧

資料1-3

NO	委員	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
1	阿部 (俊) 委員	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・総合医療センターが充実している点など、住みよい街であることをもっとPRすべきであり、総合戦略にも位置づけが必要ではないか。 ・お金を使わない宣伝も積極的に展開していくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、総合計画に掲げる重点施策35「和泉市シティプロモーション事業の推進」を追加します。 修正箇所:資料3 P39
2	山本 委員	16	第2章第2節 第2期総合戦略におけるまちづくりの目標	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に基づき取組みを推進する中で、人口を維持するために重点的に取り組む内容を示す計画が「和泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」であると認識している。 ・総合計画との整合性を図らなければならないという点は理解できるが、地方創生の目的である「人口の維持」を明確に示すべきでは。「まちづくりの目標」と「人口の維持」のつながりが分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国は、人口の維持を図ることを目的に、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を掲げているところであるため、この趣旨を踏まえ、修正します。 ・また、「まちづくりの目標」と人口の維持を目的とした取組みとのつながりを明確にするため、「政策の取り組み方」を追加します。 修正箇所:資料3 P16
3	吉川 委員	18~	数値目標、KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標は、担当課が設定しているのか。数値目標が達成可能かどうか精査すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標は担当課で作成し、事務局と調整の上、設定しています。 ・今回のご指摘を受けて、再度、担当課と調整を行い、資料4のとおり数値目標を見直しました。
4	佐藤 委員	18~	数値目標、KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度数値目標の設定根拠は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定根拠は、資料4のとおりです。
5	辻本 委員	18~	数値目標、KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIの年度ごとの達成計画を、参考資料で作成してはどうか。(現時点で、実現可能なKPIなのかがよくわからない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIの設定根拠について、資料4のとおり作成しました。 ・設定根拠と毎年の実績値を踏まえた検証を行い、KPIの達成状況を把握することで、事業の見直し等を図ってまいります。
6	佐藤 委員	4、24	(KPI) 老人クラブの登録者数	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度目標値17,924人に対し、実績は約13,100人。老人会もこの5年間で3,200人の増加を目標にしていたが、逆に1,600人の減少に至っている。 ・これらの状況を踏まえ、令和7年度目標値を現状維持としてもよいが、努力目標としての目標値は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢や登録者数が年々減少している状況を踏まえると、数値を増加させる目標値を設定することは困難であり、また、他のKPIとの整合性等を鑑みると、基準値から減少する目標値も適当ではないため、努力目標としても現状維持が適切であると考えており、数値の修正を行わないほうが良いと考えます。

NO	委員	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
7	山中委員	25	<具体的な取組み> 地域資源を生かした景観づくりの推進	・記載の内容では何をするのが少し分かりづらく感じる。具体的な施策の記入とKPIの設定があればと思う。	・景観づくりの推進については、他市事例や補助制度等の調査・研究を行い、その後具体的な取り組み内容について検討することから、現時点においてKPIの設定等は難しいものと考えます。
8	山下委員	28	(KPI) 創業セミナーの年間受講者数	・基準値(令和元年度)110人 目標値(令和7年度)130人とあるが、受講者の増加が少ないのでは。	・令和元年度実績については、97人に修正しており、過去の実績を鑑みると年間受講者数の30名増加という目標値は、過小ではなく、これ以上の増加は困難であるため、数値目標の修正は行わないほうが良いと考えます。
9	佐藤委員	34	(数値目標) 自主防災組織の設立数	・既に75団体を立ち上げている中で、令和7年度目標値を147団体とするのはかなりハードルが高く感じられる。	・近年、全国的に大規模な風水害が発生しており、本市においても平成30年台風第21号では甚大な被害がありました。災害は大きくなればなるほど共助の役割が重要となります。 ・本市の防災施策としましては、継続して防災ワークショップや防災説明会を実施し、単位町会・自治会数は約200団体と限られていますが、年間12件の新規設立に向けて取り組んでいきたいと考えています。
10	佐藤委員	36	(数値目標) 町会連合会組織への加入率	・数値目標が高すぎるのではないか。設定にあたっての根拠をお示しいただきたい。	・委員ご指摘のとおり、町会連合会への加入率は年々減少しており、担当課と調整の上、目標値を2%減の「58.0%」に設定しました。 ・設定にあたっての根拠としましては、H29年度(58.1%)並みの回復を目指すこととします。
11	宮本委員	36	(数値目標) 町会連合会組織への加入率	・年々減少していることは課題として認識している。 ・昨年度、町会連合会において、町会・自治会の活性化と会員の退会防止を目的に、「町会・自治会活性化委員会」を設置した。 ・今年度は、町会連合会に加盟している町会・自治会の会員を対象に、アンケート調査を実施。今後、アンケート調査の結果を基に、退会防止策を検討していく予定。	・加入率が年々減少している状況ではありますが、町会・自治会の活動支援や加入促進の取組みへの補助を通じて、数値目標の向上に取り組んでまいります。 修正箇所:資料3 P37
12	佐藤委員	37	数値目標	・「市民ラウンドテーブルにおける年間延べ参加人数」の設定根拠は。数値目標が高すぎるのではないか。	・委員ご指摘のとおり、大幅な増加が見込めないことから、担当課と調整の上、目標値を「240人」から「160人」に下方修正しました。 ・設定にあたっての根拠としましては、コロナの影響を除いた基準値(令和元年度)を100人と仮定し、年10人の増加を目指すこととします。 修正箇所:資料3 P38